

あまでうす

『ふれあい会館展示会』

風地蔵で、8月から9月までの1カ月間開催された、「懐かしの昭和展」が無事に終わった。続いて、毎年10月の恒例となつて、毎年10月の恒例となつている、「岐阜OKBふれあい会館」での「わたしの個展」も無事に終了した。

毎年、ふれあい会館の担当者から封書で連絡が来るのだが、その書類には、作品を何点展示するか、またどう展示するか、レイアウトを描かなければならない。今回も、6点の作品のレイアウトを描き、第2週に展示したいと希望を書いて送った。（毎年の流れで第2週にしている）。

3、4日して、担当者

風地蔵新聞

第205号 題字 岩瀬桃谷 発行 編集 風地蔵 白石 美帆 千503-0922 岐阜県大垣市馬場町85ご感想・俳句・エッセイ・お祈りお待ちま

パールック

大橋 美紀

2ヶ月に一度は会いに行つて全盲の友達、私が来ることを楽しみにしててくれています。

2週間前に「そっちに行くね」と電話を入れた。お買い物に行きました。それは、色違いのワンピースを買う事が目的でした。

カジュアルな感じで脱ぎ着しやすく、肌触りが良いものを探し回りました。

これだっと思ふものが見つかり私は、ベージュ。彼女はブラックに決め、その帰りに郵便局に寄って彼

から電話がはいり、いつもならパネル1面を使って展示するのだが、今回は2面使っても構わないということ、レイアウトを見直し、2面で9点展示することにしました。何を展示したかということ、写真を2点（うだつの上がる町並で撮影したモノクロ4サイズ）。ジョン・レノンシャツの前の部分を切り取ってパネルに入れ、そこに時計を取り付けたものを1点。ミニ掛軸2点。微笑みの国ブータンが1971年に発行した、彫刻の歴史切手1点（エンボス加工したプラスチック製）。昼時計2点。オリジナル掛時計1点の合計9点を展示。

今年開催した展示会を振り返ると、2月に毎年開催している、地元中央図書館での「シニア展」に3点出品。この「シニア展」だが、シニア文化祭の一環として「シニア展」が開催される。市内の様々なサークルに入っている人たちの出品がほとんどであるが、個人で出品する場合は、何か1点という決まりがある。では、なぜ毎年3点出品しているのか……これにはちよいとした言葉のカラクリを利用して

品してもいいという意味合いにもなる。（あくまでも個人的解釈）ということ、今年も書1点、掛軸1点（手工芸品）、オリジナル掛時計1点（その他）の計3点を展示した。蛇足であるが毎年、高齢福祉課へ行ってその場で書面に書いて申し込みを済ませるのだが、担当者が毎年代わる。そこで言われる。「ひとり1点ということですが……」と。「いつも3点展示させてもらってます」と話すと「分かりました」と言つて諒解をもらっている。

3月と4月の2カ月間は、取引をしているCSK（岐阜信用金庫）のロビーで、オリジナル掛時計を前半8点展示。後半8点では、そっくり入れ替え

女に送りました。次の日に彼女から連絡が入り、喜んでくれました。目が見えないので私が、どんな感じか説明をするのを聞いて彼女は、手で肌で感じ取っていくのです。私は、「今度そっちに行く時そのワンピースを着てよ。私とパールックだから」彼女は「うん。わかっ

そんなに遠くない所までトイレが広く出来れば障害者用があればベストなのです。今は、ソーシャルディスタンスで隣との間隔は開いているので問題はありませぬ。当日の朝、台風の影響で大雨でした。衣替えを手伝って欲しいと言われていましたので、いつもより早く家を出ました。全くと目の見えない彼女との作業は思った以上に大変でした。一枚一枚デザイン色や柄どんな時に着る物かを説明しながら彼女は、手で確認を

ンガーに掛けていくのですが、とにかく時間が思つてたよりかかりました。衣替えも終わり、彼女も私を送つておいたワンピースに着替え2人向き合いになり、彼女は自分の着てるワンピースと私の着てるワンピースを交互に手でなぞっていく笑顔になつていくのが私は嬉しかったのです。

雨の日のお出掛けはいつもより大変です。手を引き、傘をさした移動ですし足元も悪くなりますからより神経を使います。部屋を出て目当てのお店でランチを食べながら昔話に休みの事や現状報告、新しく始まるドラマの話と、毎日の様に話が尽きませんでしたが、あつという間に2時間

ご縁

遠藤 暁美

「風地蔵」と土岐先生のご縁を知って、世の中、こんな奇跡のようなことがあるのねと驚いたのです。私と「風地蔵」を出会わせてくれたのは「風地蔵新聞」の生みの親、堀切先生でした。絵手紙教室の先生が紹介してくれた一冊の本、「姥ざかり旅の花笠」。高倉健さんのご先祖である小田宅子さんが四人で五ヶ月もの長旅に出て「東路日記」という旅行記を残し、それを田辺聖子さんが小説化したものです。田辺さんが当時の女用道中着について教えを乞うたのが堀切先生。先生のお話に感銘を受け、余談ながら古着にまつわるエピソードが挿入されています。それは本当に感動的な話で、読み終わった後、その部分が一番印象に残り、私は北九州にこんな方がおられることを知らずにいたことを恥じました。先生の仕事と人となりをもっと知りたい、と思つて、い頃、美帆さんから絵手紙が届いたのです。

大垣で新聞を出しているとき、「読んでみたい」とお願いしたら、すぐに数ヶ月分が送られてきました。最初に手を取ったのが第181号でした。「うそ！」と思わず声が出ました。堀切先生と美帆さんと「風地蔵新聞」の深いつながりが詳しく書いてあるではありませんか。私が知りたい人のことが書いてある、私の思いが通じたみたいになつた一面なのに書けなくて苦しんだり、大げさでなく命を削るような思いもしてやつてきたのになあ。十一年目に入ったし、手を引く潮時かと思いはしたものの、モヤモヤは消えず。

そんな私を案じてくれた美帆さんからのお誘い、「風地蔵新聞」に書いてみました。せんか？悩みました。が、これもご縁と、お誘いになることにしました。(よろしくお願いします。)

「ご縁」を感じた瞬間でした。婿が福岡の小さな町でパン屋を開業して十年間、彼の依頼で出し続けていた手書き新聞はコロナ自粛休業の為に休刊、感染者の多い北九州に住む私は出禁となつて数ヶ月、ある日店に寄つてくれた美帆さんから写真が送られてきました。新しい名前、二号だつてー私、クビになつちやてたんだ。

運動会

佐藤 凱翔

10月11日

日曜日。コロナウィルスの影響でどうなるかと思つた運動会。今年、コロナウィルスに考慮され運動場で開催され保護者は、2名までで子どもたちは2歳児以上で始まった。始まる少し前、らんちゃんとおちゃんにインタビュー。ニコニコして嬉しそうにしてるあおちゃん。少し緊張しているらんちゃん。今年はどうなるかな？去年は泣きべそかいたらんちゃん。今年、泣かないもぞ開催。らんちゃんもあおちゃんもお利口に椅子に座り、話を聞いています！さあ始まり。リズム運動

から始まり、去年の運動会から1年。泣きべそそのらんちゃんが泣かずにしつかりやつてる。少しの緊張もまだ残っているがみんなと一緒に上の子達にも負けないくらい元気にリズム。うさぎ・うま・とけい・こまかかし。次から次にこなしてらんちゃん。少しづつ少しづつ緊張もつけてきた。あおちゃんはずーっとニコニコ。どんだけ楽しいんだろう！と思うほど、ニコニコ。緊張なんてしないあおちゃん。リズムも人一倍じょうずに大きく動き楽しんでる様子。一年の成長がみれた。続けてあおちゃんのクラスの体育遊び。板をのぼり、ジャンプ。そしてバランス感覚大事な平均台。最後に鉄棒で豚の丸焼き。たつたあーと走り勢いよく板のぼり。とつとつとジャンプゆっくり慎重に平均台を渡るあおちゃん。走って落ちる事なんてきけず行くと思つたけど意外に慎重派で行つた。「ぶーたのぶーたのまーるーやーきじょーずにできましたー」らんちゃんの体育遊びは少しレベルアップ。板が高くなり、ジャンプ。そして鉄棒は足抜き前回り。最後にタイヤを引つ



張り走りゴールのコーラス。「さとうらんちゃん！」「ハイ！」と手をあげ走り出し板を必死にのぼりしつかりジャンプ。足抜き前回り！そして後ろ回り！後ろ回り？そうらんちゃんだけ後ろ回りもしてハイレベル。パパもちよつとビックリ。何トンもあるタイヤ？を引つ張りゴール。一生懸命板のぼりする姿にパパは感動した。2人とも滑る板をあんなに力強く真剣に登つてくなんて。すごい。あおちゃんらんちゃんのクラスはかけっこで終わり。「さとうあおちゃん！」「ハイ」と言い、退場しようとするあおちゃん。みんなにつつまれていた。家中でも何度も何度も練習したかけっこ。スタート大事。ヨイドン！少し出おくれた！けど走る走る走る。何とゴールテープをきりゴールした。続きらんちゃん。ヨイドン！らんちゃんも少し出おくれ。それでも負けない。一生懸命走れる。おいこせおいこせ！ゴール。らんちゃんもゴールテープを切つてゴール。さすがだ。早く走れたこともすごいが、真剣に走るこゝとが一番すごい！2人ともよく走つた。今年、親子競技はななく、パパの一番はななく、一年の成長。保育園での頑張りが見れた。来年は、コロナなんて負けずにみんなで見たいな。



お便りします

ギター弾きおやじのひとりごと

中野修

「昭和にタイムスリッ... プーのイベントで、... ホーロー看板の展示... と、ギター弾き語り... で昭和の歌を歌わせ... て頂いた中野です...」

和は良かった。あの頃は... とつくづく思います... コロナ禍にもかか... わらず、多数の方... 聴きにきて頂きほ... とうにありがとうご... ざいしました。そし... てイベントの為に御... 協力頂いた常連客の... 皆様おつかれ様です...

「昭和にタイムスリッ... プーいい企画をされ... 皆様と一丸となつて... 今月開催されました... 事すばらしいことだ... すね。皆様の笑顔が... 目に浮かびます...」

ちよつと立ち話

よくかかれまますね。いつもパワーフルです。ね。(馬場町の奥様)

オーナーと店長と小鹿田焼の里に行つて下さり... 聞いて器の仕入れをして下さりました... 本手に手にしてみても... 素朴さと民芸の伝統を感じ取る... ことができました... 来ました...」

をさせて頂きました。私も40うん才と言われ... 笑って話をしましたね... が出来なくなり... 早めの治療ですよね...」

出掛けらんちやん達に出が一つ増えましたね... 大きな輪になりました... と大きくしていきま... しょう...」

九州研修&慰安旅行 研修編

鎌澤 宣子

九州最終日、今日は... いのちの旅博物館に... て棟方志功展を見て... ランチをして帰りま... す。

このいのちの旅博... 物館には、風地蔵新... 聞を発行する事にな... た原点である堀切辰... 一先生の所蔵品であ... る時代布「襤褸」... (らんる)が常設展... 示されています。堀... 切先生にも何年もお... 会いしてなくてお会... いしたくて、九州に... 行く三ヶ月位前から... お電話をしていただ... れど連絡が取れず九... 州に着いてからもお... 電話したのですが、... 連絡取れなくてい... ちの旅博物館に行け...

ばわかるよね。と軽い気持ちでした。堀切先生からは、時々ポツとお電話が入ったり、年賀状のやりとりをしていて、入退院を繰り返していらつしやるのは知っていました。お電話でもいつも力強い息吹きを感じていて、おだやかな口調の中にも生きるといいうエネルギイを感じさせられる話し方だったのを思い出しました。そういう方でしたの...」

と戻っていた矢先、大垣に戻ってしばらくして娘さんより連絡があり、十月に亡くなられていたとの事、もうびつくりでした。もう一年になりました。最後にもう一度お会いして、温もりのあるお声をお聴きました。ここであらためて、ご冥福をお祈りします...」

に記事を書いてくださる事になった方です。お会いする時から、なるべくしてなつたという思いで今ペンをはしらせています...」

姉さんという感じでした。舞い上がって何を話したのか忘れてしまいましたが、話し方と声は記憶に残っています...」

風地蔵が昭和に  
タイムスリップ！

岐阜県羽島市  
丹下 哲也

暑い日が続いてい  
た8月の中旬、妻が  
風地蔵さんに置いて  
あった一枚のチラシ  
を持ち帰ってきまし  
た。そこには、「風  
地蔵が昭和にタイム  
スリップ」と題して  
企画展示をする告知  
がしてあり、さらに  
その先には、「昭和  
30年代後半、高度  
成長がはじまった」  
と記してあり、  
以下、新幹線開通、  
名神、東名道路が出  
来生活も大きく変わ  
た。くく新鮮に感じ  
て頂ける昭和にタイ  
ムスリップですと書  
かれていました。中  
でも、興味を持った  
のは展示物として国  
鉄関連と書かれてい  
た部分です。そこで、  
今度は妻と風地蔵さ  
んを訪ね、「国鉄関  
連のものが何点か有  
るので、そのうち数  
点を展示させてもら  
えませんか」と申し  
出たところ、快諾し  
て頂きました。

我が家でも、自転車  
の前に子供用の座席  
を取り付け父親の運  
転で駅に向かったの  
で見た。初めて近く  
で見ると、列車にす  
り魅了させられたよ  
うで、父親は「一時  
間もすれば、やがて  
飽きるだろう」と思  
っていたようでした。  
頃合いを見て、「も  
うじき家に帰るよ」  
と何度呼びかけても  
私「まだ来る。ま  
だ来る」と言っ  
てなかなか離れよう  
とせず、とうとう次  
回の駅来訪を約束さ  
せられ、やつと帰宅  
することが出来たそ  
うです。  
昭和30年代初頭と  
いえば、東海道新幹  
線はまだ開通してお  
らず、東海道本線は、  
まさに日本の大動脈  
として特急列車から  
貨物列車まであらゆる  
種類の列車が高頻  
度で運転されており、  
子供にとっては、そ  
れはそれだ、楽しい  
ひと時だ、たに違  
ないと思えます。そ  
の後、日本が高度成  
長の時代を歩むにつ  
れ、東海道本線の輸  
送量は限界に達して  
しまい、早期に別線  
の新幹線（東海道  
新幹線）の建設が叫  
ばれるようになった。  
父親が見繁く駅に  
列車を見せに行っ  
た。座席におかけで、  
転する運転士に憧れ、  
ついにどうして  
運転士になりたい  
と思うようになった  
。年々重なるに  
つれ、次第にその  
は、4年2月に念願  
5年4月に就職し  
国鉄に入社した。こ  
が、この就職した  
と、この就職した  
も、この就職した  
に、この就職した  
定年退職、いわゆる

受験資格が与えられ  
ます。その後、運  
士募集の告知があり、  
受験を申し込みます。  
学科試験、適性試験  
をパスし、教習機関  
に入所。そこで、運  
転のイロハを学び、  
卒業後、運転現場に  
配属され見習運転士  
になります。一定期  
間の見習期間が終  
ると、運転審査があ  
り合格すると晴れて  
一人前の運転士にな  
ることが出来ます。  
私は、58年10月  
に念願の運転士にな  
ることができました。  
幼い頃からの夢が叶  
い、今は亡き両親が  
大変喜んでくれたこ  
とを今でもはつきり  
と覚えています。  
と覚えています。  
見習運転士（当時は  
機関士と呼んでいた）  
になって、初めて運  
転席に座り、指導員  
からアドバイスを受  
けながら営業列車を  
動かした時、「夢が  
叶った嬉しさと同時

に人命を預かる大変  
責任の重い仕事であ  
る」と痛感しました。  
それと運転士の仕事  
は一見華やか、よう  
に見えますが、不規  
則な休息と食事、睡  
眠のなかな時間も緊  
張を強いられる大変  
厳しい仕事であると  
初回の乗務からひし  
ひしと感じました。  
その後、次第に運  
士の仕事にも慣れこ  
れからますます頑張  
らねばと思つた矢先、  
昭和62年4月、国  
鉄が分割民営化され  
ました。それに伴い  
多数の人員整理があ  
り、残念でしたが国  
鉄をさらねばなりま  
せんでした。国鉄に  
就職した時、一生勤  
務すると固く誓った  
のに、悔しくて涙が  
出ました。「時代の  
流れとは言葉、今ま  
での努力は何だった  
んだろう」と  
抱きながら、私が運

転士として乗務した  
3年半の間に収集し  
た運転関係の資料と、  
その後、趣味で収集  
した鉄道グッズを数  
点展示させて頂きま  
した。企画展示が始  
まったから風地蔵さ  
んにお伺いしました  
ら、私の展示物の他、  
他の方達からの展示  
物も判りやすく展示  
してあり、当時の国  
鉄時代を偲ぶことが  
できました。  
過ぎ去った日々は  
取り戻すことはでき  
ませんが、父親のお  
かげで、国鉄を去つ  
た今でも鉄道を趣味  
として、全国に出掛  
けることが出来る幸  
せを感じています。  
まだまだ、鉄道に関  
する話、情味に  
お話しできます。また  
あれば幸いです。また  
す。

剪定教室

中日文化センター大垣さんで剪定教室の講師をしている。  
年間6回コース。何故か生徒さん全て女子！

はじめはウチの庭で教えていたが、だんだん飽きてきて、  
ウチが檀家のお寺を借りて開催。みんなで半日剪定すると  
案外たくさんのお木を切ることが出来、住職にも喜んでもらった。

教えたこと(おこがましいが)を自宅で実践しているらしく、  
皆さんどんどん上手になる。

最後の6回目は実際にウチのメンバー達と混ざり、お客様宅で剪定。  
刈り込みは勿論、モミジなども。そして松も普通に上手くなっている。

女子達は思い切りがいい！遠慮なしに怖いくらいドンドン切っていく。  
いつでもアルバイトに来て欲しい。  
ちなみにウチの時給はチョイ高め、誰でも1200円。

庭師募集中！である。

庭師 奥田良樹